



株式会社シー・エス・ランバー

東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
証券コード 7808

2021年5月期第2四半期決算説明会


2021年1月27日開催



1. 当社の概要
2. 2021年5月期第2四半期決算概要
3. 2021年5月期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

Customer Satisfaction through Lumber

木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

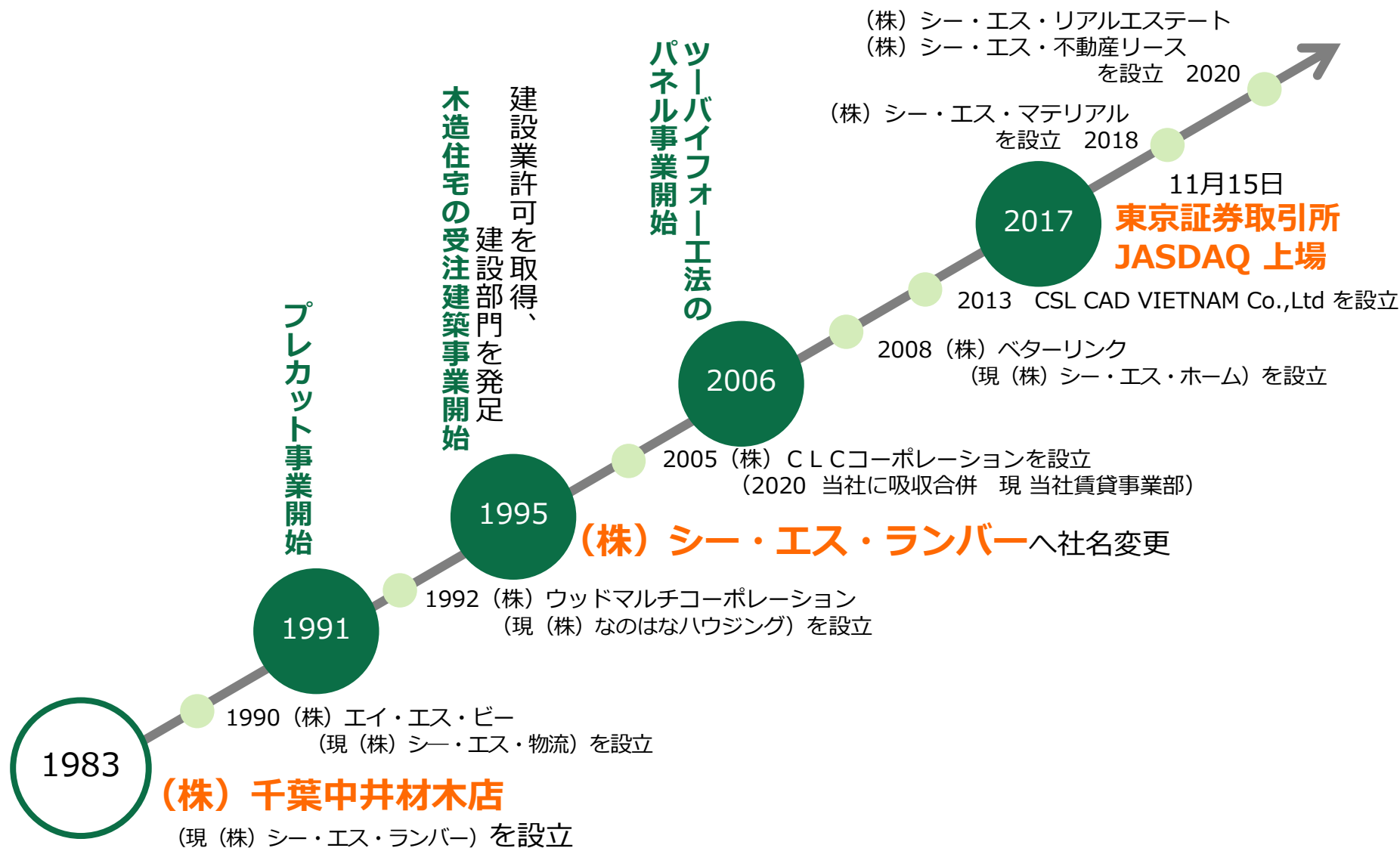
会社名	株式会社シー・エス・ランバー	 <p>幕張本社外観</p>
本社所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷一丁目16番3号	
代表者	代表取締役社長 中井 千代助	
設立	1983年4月1日	
資本金	524百万円	
事業内容	<p>1:プレカット事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在来軸組工法における設計、木材のプレカット加工及び販売 ● ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売 <p>2: 建築請負事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 木造住宅・大型木造施設の建築請負 <p>3: 不動産賃貸事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産賃貸・管理 <p>4: その他事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産の販売 	
従業員数	連結 335名 他に臨時従業員 96名	

(2020年11月末現在)

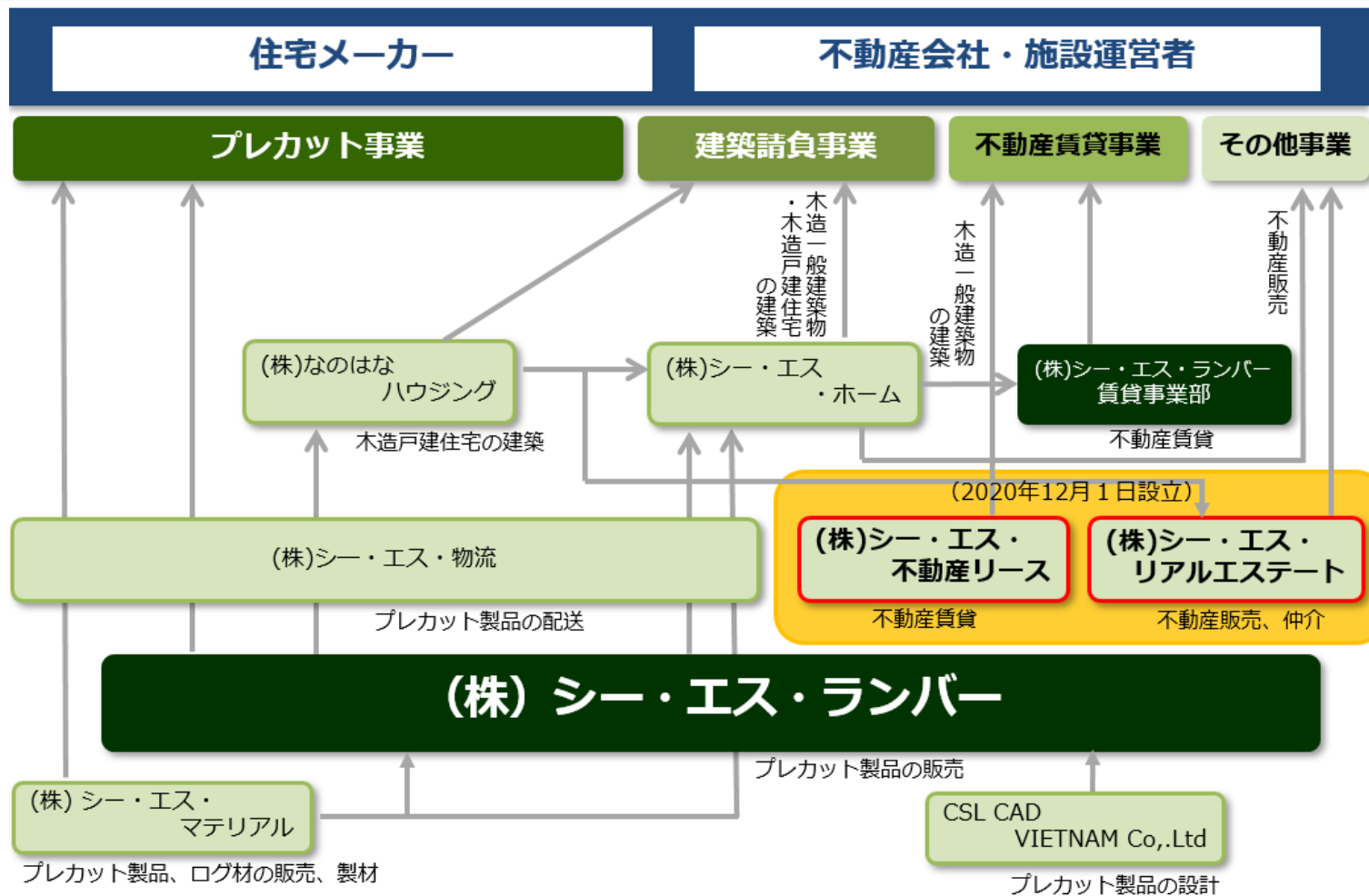
シー・エス・ランバーのあゆみ



木材を熟知する材木店から、木造建築のトータルサービス企業へ



新会社2社を通じ、不動産の販売・仲介及び賃貸事業に注力



※ (株) シー・エス・リアルエステートは、現在、宅地建物取引業の免許申請中であり、免許取得後は、当社子会社である (株) シー・エス・ホームの不動産販売事業を吸収分割する予定です。

1. 当社の概要
2. 2021年5月期第2四半期決算概要
3. 2021年5月期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

2021年5月期第2四半期 決算概要



プレカットを中心とする原価低減努力、建築請負における施工管理改善、不動産賃貸の伸長により増益を確保

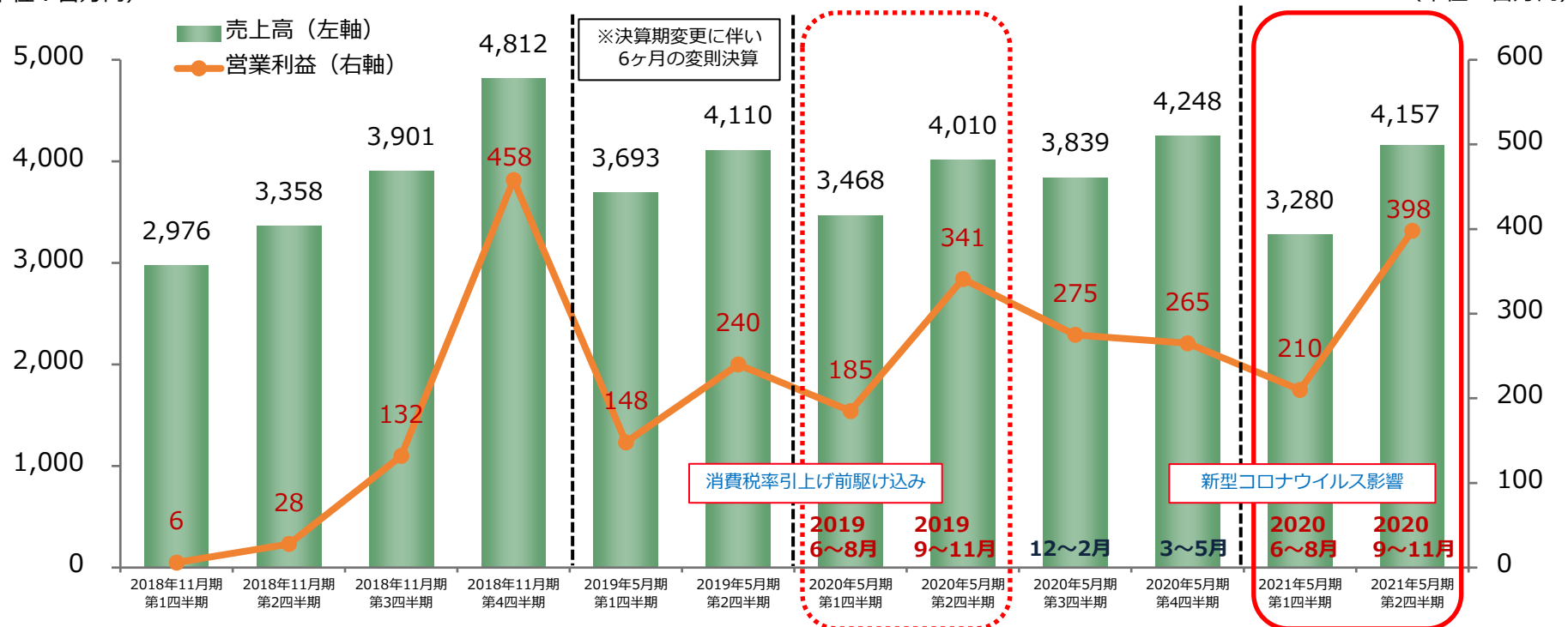
単位：百万円	2020年5月期第2四半期		2021年5月期第2四半期				2021年5月期	
	実績		実績		前年同期比		予想	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	進捗率
売上高	7,478	100.0%	7,438	100.0%	△ 40	△ 0.5%	15,410	48.2%
プレカット	6,186	82.7%	6,007	80.8%	△ 178	△ 2.9%	12,201	
建築請負	1,384	18.5%	1,391	18.7%	6	0.5%	4,117	
不動産賃貸	273	3.7%	298	4.0%	25	9.5%	600	
その他	99	1.3%	232	3.1%	132	133.7%	340	
粗利益	1,597	21.4%	1,700	22.9%	103	6.5%	3,326	51.1%
プレカット	1,258	16.8%	1,304	17.5%	46	3.7%	2,368	
建築請負	106	1.4%	142	1.9%	36	34.2%	412	
不動産賃貸	221	3.0%	230	3.1%	8	4.0%	459	
その他	19	0.3%	28	0.4%	9	49.9%	49	
販売費及び一般管理費	1,069	14.3%	1,091	14.7%	21	2.0%	2,237	
営業利益	527	7.1%	609	8.2%	81	15.5%	1,089	55.9%
プレカット	335	4.5%	353	4.7%	17	5.3%	538	
建築請負	△ 42	△ 0.6%	△ 9	△ 0.1%	33	-	97	
不動産賃貸	201	2.7%	230	3.1%	28	14.4%	400	
その他	7	0.1%	13	0.2%	5	73.8%	20	
経常利益	502	6.7%	574	7.7%	71	14.3%	1,042	55.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	297	4.0%	388	5.2%	90	30.5%	640	60.6%

2021年5月期第2四半期 四半期業績推移



ハウスメーカー営業停止の影響を受けて、第1四半期は売上高が前年同期比減少するも、第2四半期は回復基調

(単位：百万円)



- ・2018年11月期は、上期では材料費の値上がり価格に転嫁できず業績が振るわなかったが、下期は逆に価格転嫁が進み、また上期の反動などから受注に成功し、売上・利益を伸ばした。
- ・2019年5月期は、決算期変更に伴い6ヶ月の変則決算。通常は閑散期にあたるが、消費税増税前の駆け込み需要があったとみており、堅調な業績となった。
- ・2020年5月期は、上期においては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減を懸念したが、実際には通常通り案件を獲得することができ、下期においては、通常は閑散期でありながらも、営業・製造・配送の強化・効率化で事業の底上げを図ることができた。
- ・2021年5月期第2四半期は、新型コロナ一色となったものの、第1四半期と第2四半期とでは建築市場の動きにも違いが見られた。

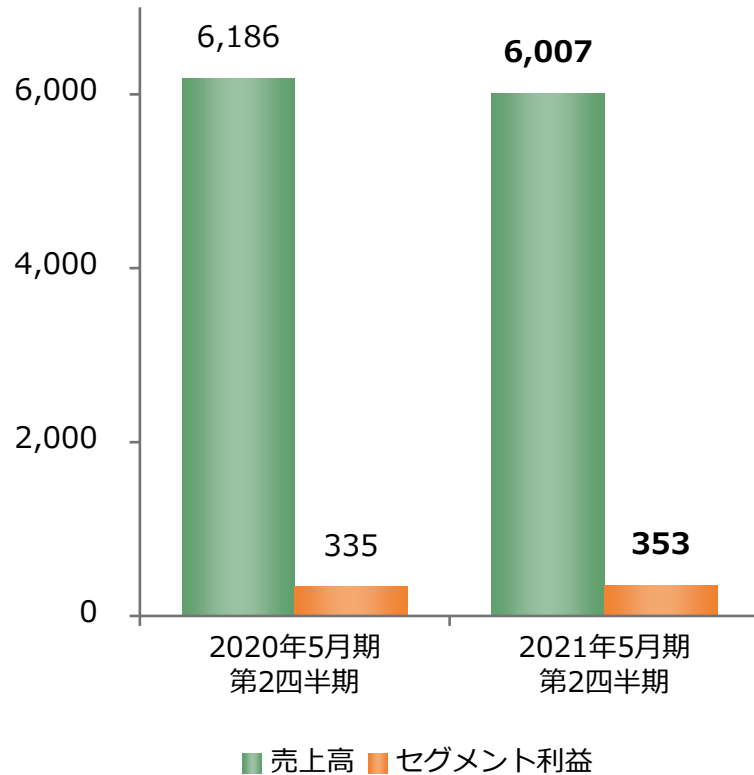
2021年5月期第2四半期 プレカット事業（前年同期比）



新型コロナウイルスの影響で、在来部門は分譲住宅向けプレカット出荷が落ちたが、利益率が高い注文住宅で一部カバー

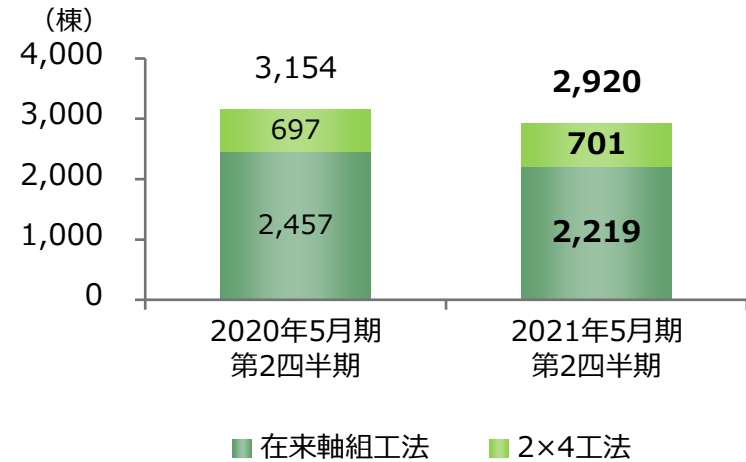
売上高・セグメント利益

(百万円)

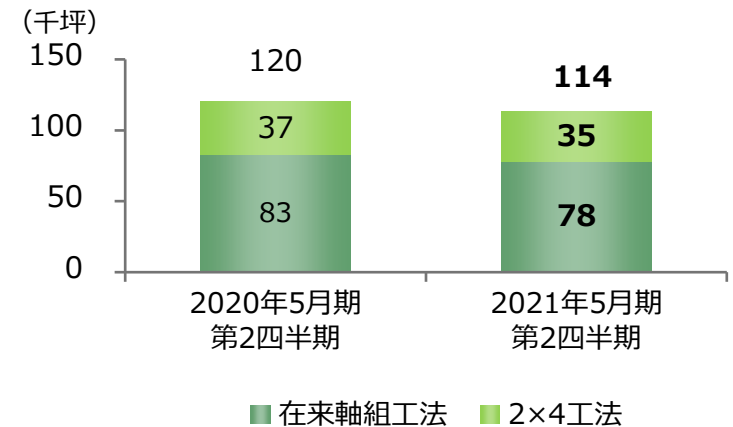


※歩留まり徹底の材木購入、工程上の無駄排除による生産性向上、新規先開拓や利幅確保、樹種変更、材料費削減、一括配送によるトラック台数削減や1台一日二便体制、など

出荷棟数



出荷坪数



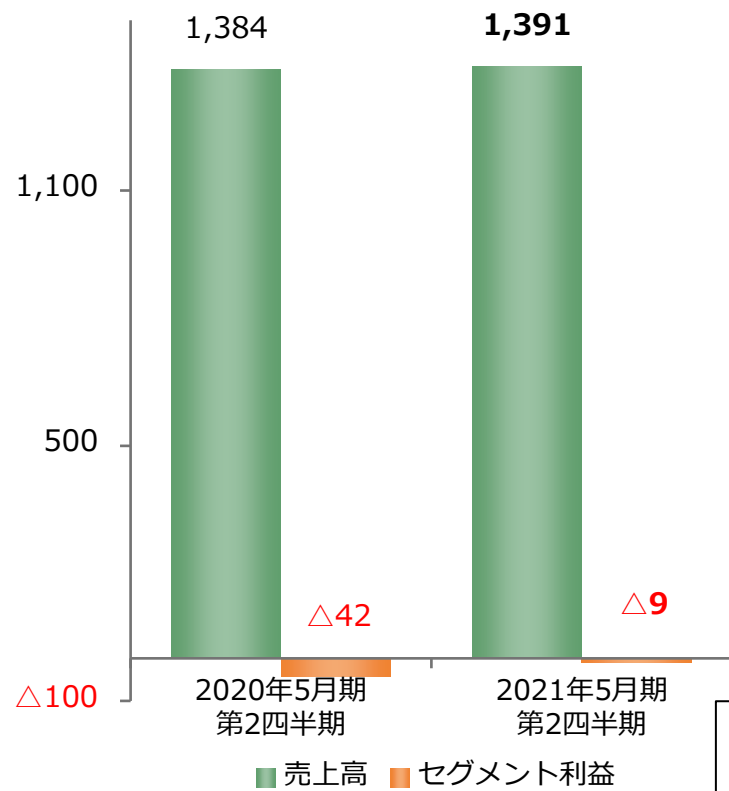
2021年5月期第2四半期 建築請負事業（前年同期比）



2020年2月から新マネジメント体制に移行し、更なる業績拡大に向け、営業部門の案件獲得を強化中

売上高・セグメント利益

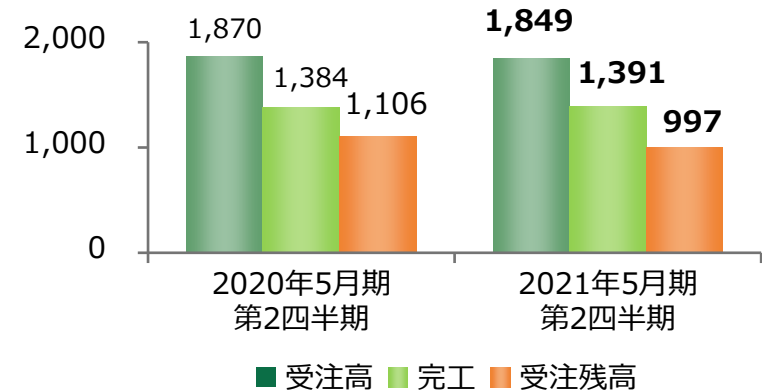
(百万円)



受注積上げや大型物件獲得など、営業面が引き続き課題

受注・完工・受注残

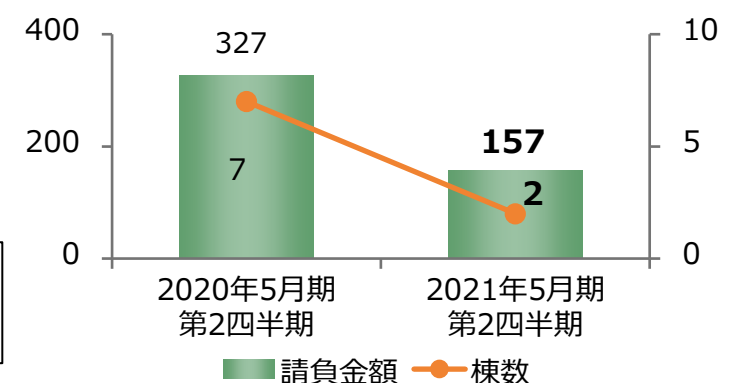
(百万円)



大型(50坪以上)木造住宅・施設

(百万円)

(棟)

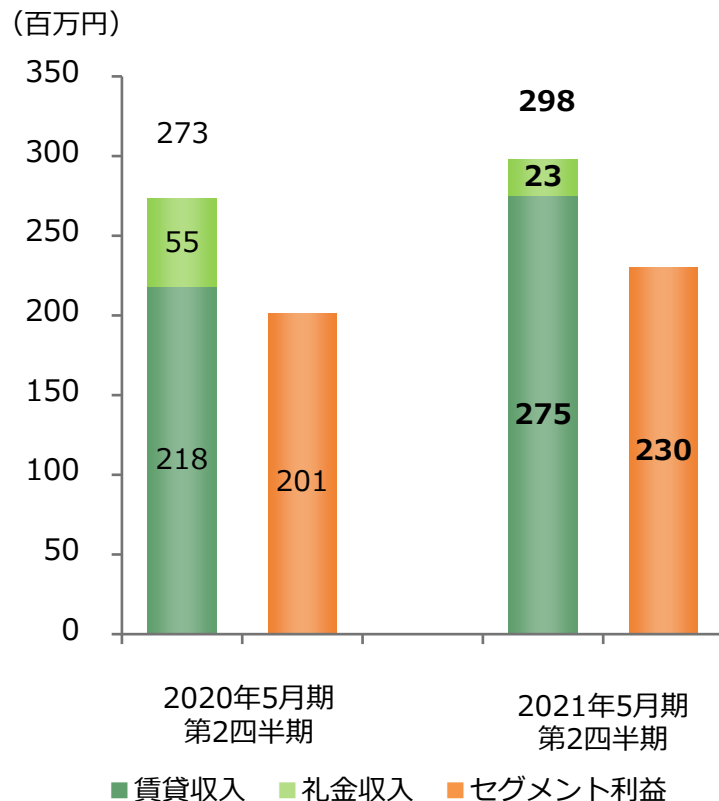


2021年5月期第2四半期 不動産賃貸事業（前年同期比）



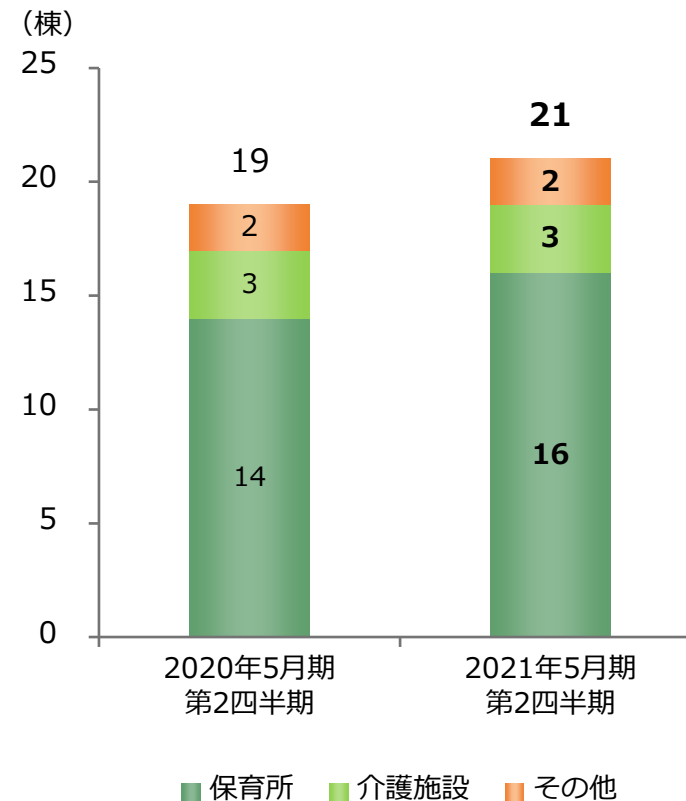
保育所は2020年4月新規に4棟開所して全15棟。賃貸中の保育所は2021年4月開所1棟を含めて16棟

売上高・セグメント利益



賃貸収入・礼金収入の推移は、37ページもご参照

賃貸及び管理棟数



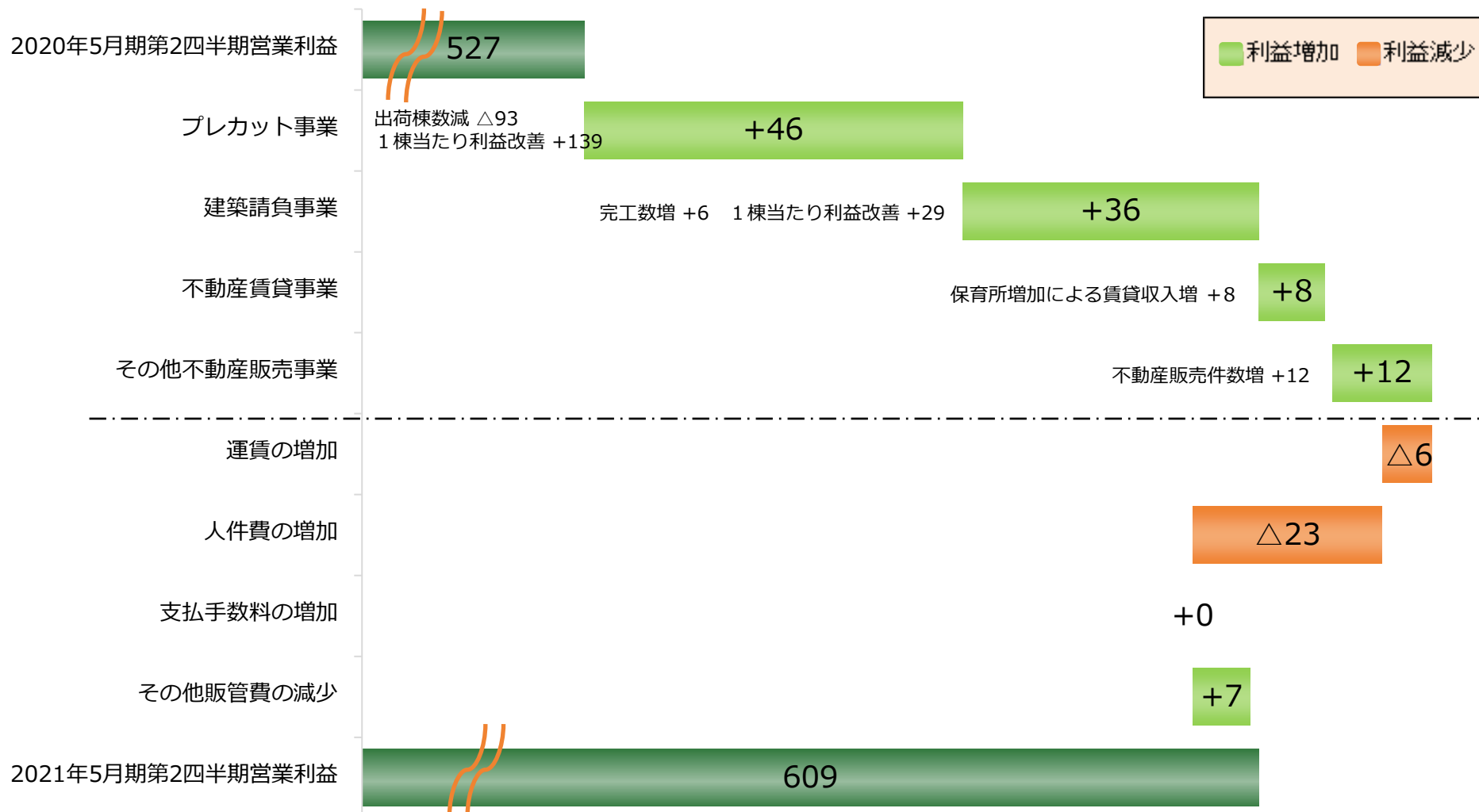
2021年度は4月に2棟、8月に1棟、合計3棟開所予定

2021年5月期第2四半期 営業利益の増減（前年同期差）



特にプレカット事業及び建築請負事業が牽引し、前年同期と比べ81百万円増益

(単位：百万円)



2021年5月期第2四半期 貸借対照表



単位：百万円	2020年5月期		2021年5月期第2四半期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	6,048	41.4%	5,652	39.4%	△ 395	△ 6.5%
現金及び預金	2,312	15.8%	2,004	14.0%	△ 307	△ 13.3%
受取手形及び売掛金	2,599	17.8%	2,473	17.2%	△ 126	△ 4.9%
販売用不動産	364	2.5%	218	1.5%	△ 146	△ 40.1%
製品・仕掛品	363	2.5%	628	4.4%	264	72.6%
原材料及び貯蔵品	338	2.3%	259	1.8%	△ 79	△ 23.5%
その他	69	0.5%	68	0.5%	△ 0	△ 0.9%
固定資産	8,576	58.6%	8,691	60.6%	114	1.3%
有形固定資産	7,988	54.6%	8,138	56.7%	150	1.9%
無形固定資産	152	1.0%	137	1.0%	△ 14	△ 9.6%
投資その他の資産	435	3.0%	415	2.9%	△ 20	△ 4.7%
資産合計	14,625	100.0%	14,344	100.0%	△ 280	△ 1.9%
流動負債	6,108	41.8%	5,587	38.9%	△ 521	△ 8.5%
支払手形及び買掛金	2,845	19.5%	2,663	18.6%	△ 181	△ 6.4%
短期借入金	1,113	7.6%	1,080	7.5%	△ 33	△ 3.0%
1年内償還予定の社債	-	-%	100	-%	100	-%
1年内返済予定の長期借入金	701	4.8%	419	2.9%	△ 281	△ 40.1%
未払法人税等	236	1.6%	167	1.2%	△ 68	△ 29.0%
その他	1,213	8.3%	1,155	8.1%	△ 57	△ 4.7%
固定負債	5,181	35.4%	5,100	35.6%	△ 80	△ 1.6%
社債	-	-%	400	-%	400	-%
長期借入金	4,178	28.6%	3,768	26.3%	△ 409	△ 9.8%
リース債務	577	3.9%	501	3.5%	△ 76	△ 13.2%
その他	425	2.9%	430	3.0%	4	1.1%
負債合計	11,290	77.2%	10,687	74.5%	△ 602	△ 5.3%
株主資本合計	3,277	22.4%	3,577	24.9%	300	9.2%
純資産合計	3,335	22.8%	3,656	25.5%	321	9.6%
負債純資産合計	14,625	100.0%	14,344	100.0%	△ 280	△ 1.9%

製品・仕掛品の増加は、建築途中の物件が増えたことによるもの

有形固定資産の増加は、2021年度開所予定の保育所を取得したことによるもの

活発な投資と借入金などの返済により、現金及び現金同等物は3.2億円減少し、期末残高は19.4億円

単位：百万円	2020年5月期第2四半期実績	2021年5月期第2四半期実績
営業活動によるキャッシュフロー	554	426
投資活動によるキャッシュフロー	△ 100	△ 313
財務活動によるキャッシュフロー	△ 257	△ 441
現金及び現金同等物の増減額	195	△ 328
現金及び現金同等物の期首残高	1,714	2,277
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,909	1,949

単位：百万円	2020年5月期第2四半期実績	2021年5月期第2四半期実績
設備投資	113	307
減価償却費	200	203

1. 当社の概要
2. 2021年5月期第2四半期決算概要
3. 2021年5月期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

2021年5月期 業績予想



単位：百万円	2020年5月期		2021年5月期	
	実績	第二四半期実績	通期予想	
	金額	金額	金額	前期比
売上高	15,565	7,438	15,410	99.0%
プレカット	12,328	6,007	12,201	99.0%
建築請負	3,750	1,391	4,117	109.8%
不動産賃貸	536	298	600	112.0%
その他	213	232	340	159.4%
粗利益	3,277	1,700	3,326	101.4%
プレカット	2,485	1,304	2,368	95.3%
建築請負	356	142	412	115.9%
不動産賃貸	412	230	459	111.4%
その他	31	28	49	157.2%
営業利益	1,068	609	1,089	101.9%
プレカット	581	353	538	92.7%
建築請負	48	△ 9	97	203.5%
不動産賃貸	369	230	400	108.3%
その他	6	13	20	333.3%
経常利益	1,026	574	1,042	101.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	638	388	640	100.4%

2021年5月期の業績予想は、新型コロナの状況次第で悪化するリスクはあるが、変更せず

プレカットは、木材価格が高騰しているため、利益率が下がると見込む

建築請負は、第2四半期実績は赤字であるが、新型コロナ等の影響により完工が下期に集中。年間ベースでは業績予想通りと見込む

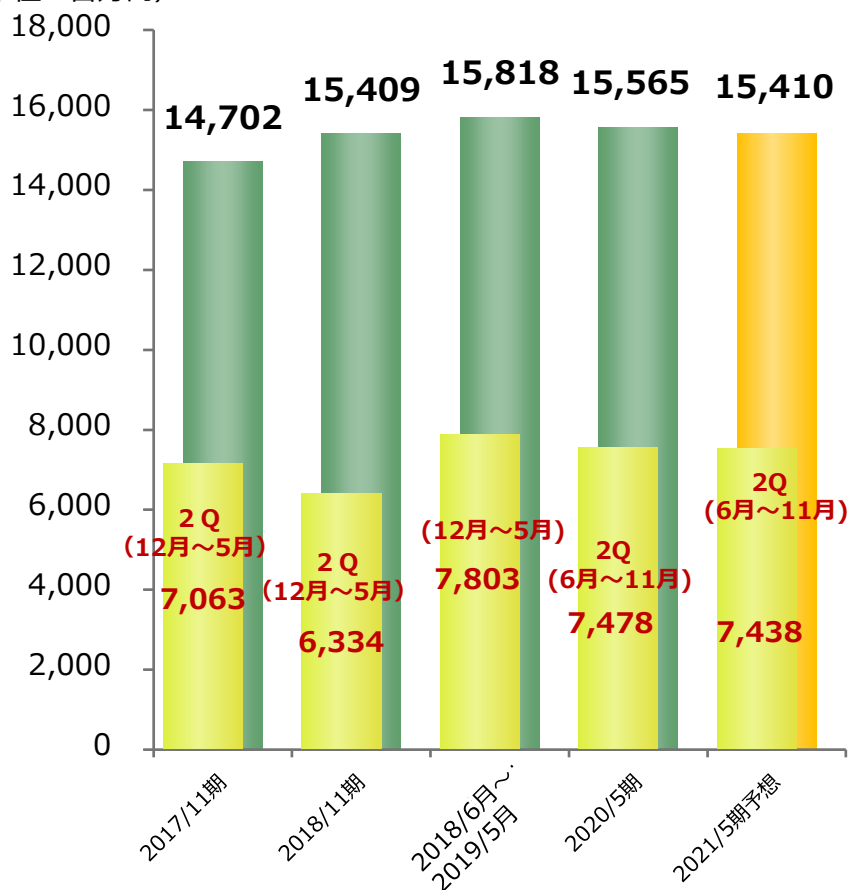
2021年5月期業績予想 業績推移



2021年5月期の営業利益は、前期並みの水準を予想

売上高

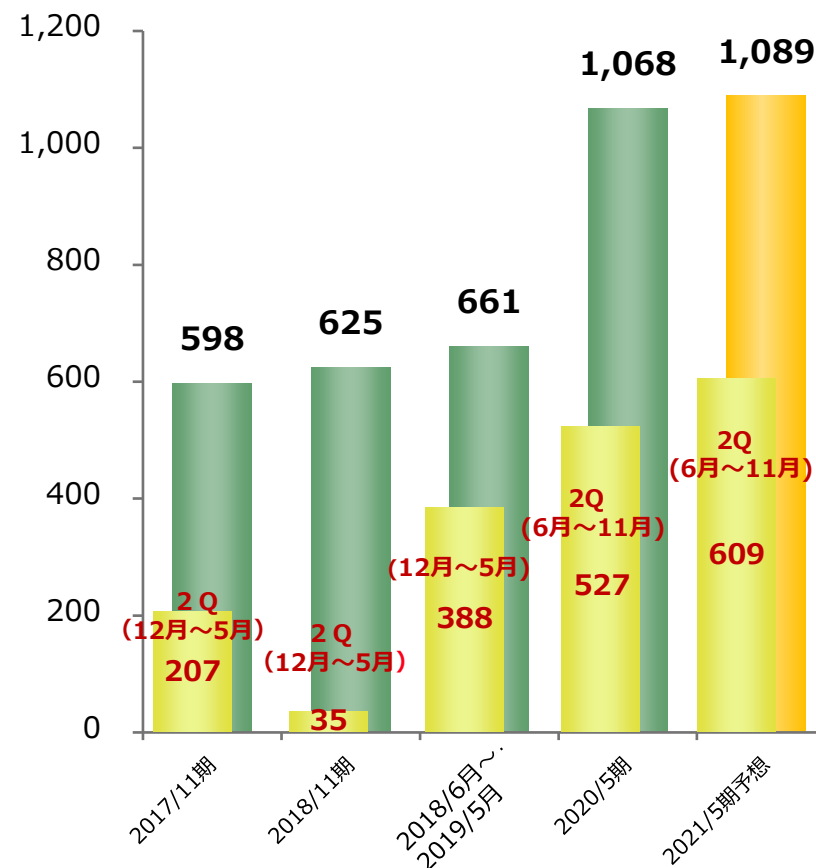
(単位：百万円)



■通期実績 ■2Q実績 ■通期業績予想

営業利益

(単位：百万円)



■通期実績 ■2Q実績 ■通期業績予想

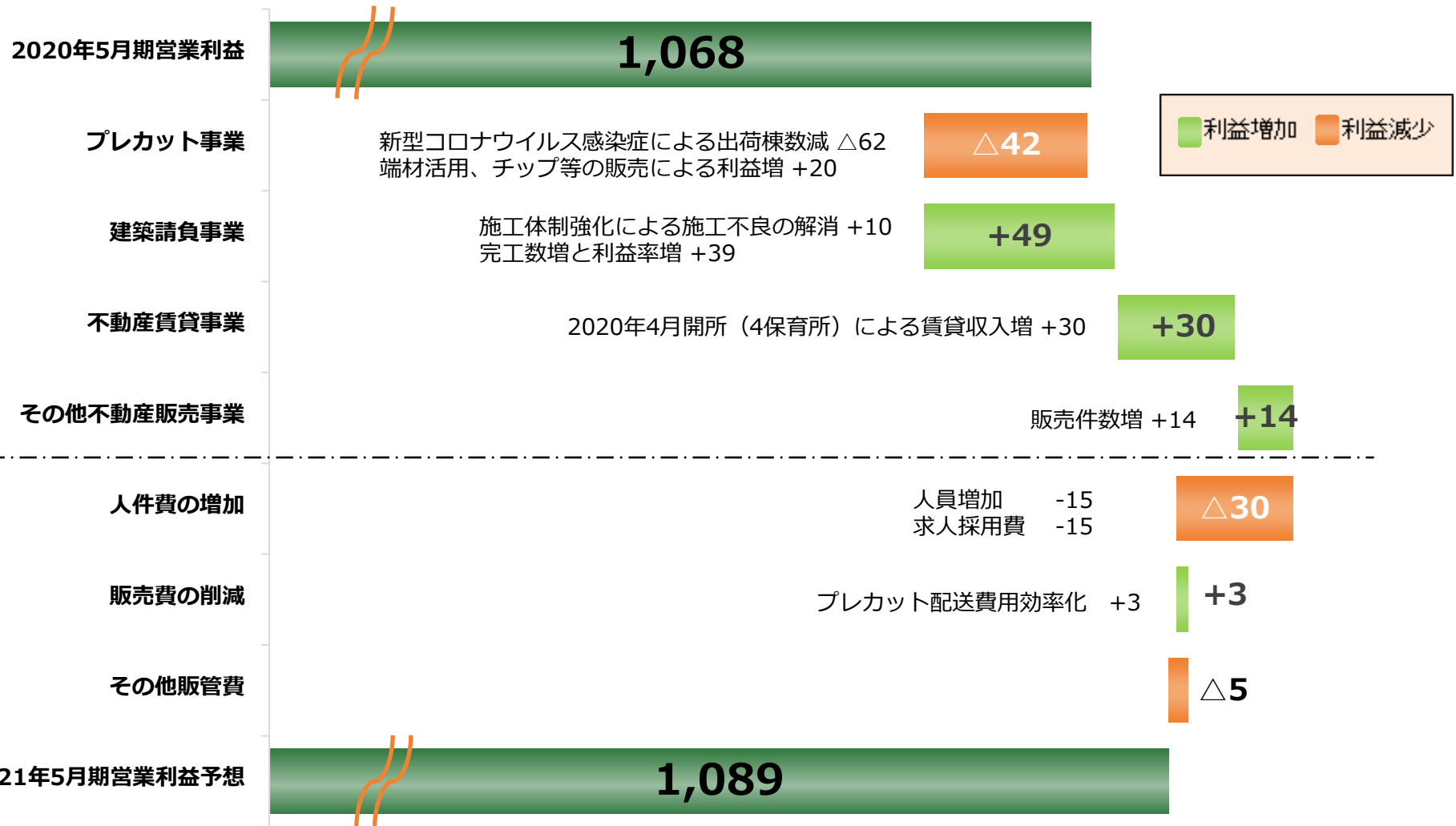
※2018年6月～2019年5月は、特殊要因（消費税増税駆け込み需要効果）を除く値で読み替えを実施
 ※決算期の変更に伴い、2020年5月期から第2四半期の期間が6月～11月となるもの

2021年5月期業績予想 営業利益予想分析



主に建築請負の業績改善と不動産賃貸の伸長により、増益を見込む

(単位：百万円)

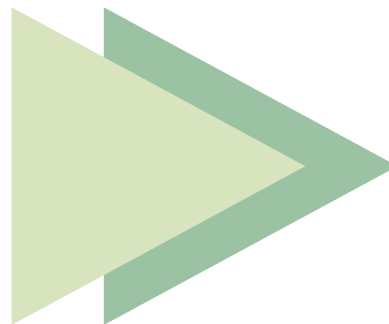


2021年5月期の配当は、2020年5月期と同様50円を予想

配当政策の基本方針

将来の事業展開と
経営体質強化に必要な
内部留保の確保

継続性・安定性
(配当性向20%を目安)



経営成績に応じた
配当の実施

配当金額

2019年5月期（6ヶ月決算）

1株当たり年間配当金 : 22円（期末22円）

2020年5月期（12ヶ月決算）

1株当たり年間配当金 : 50円（期末50円）

2021年5月期（12ヶ月決算）

1株当たり年間配当金予想 : 50円（期末50円）

1. 当社の概要
2. 2021年5月期第2四半期決算概要
3. 2021年5月期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

(事業戦略の一例) 非住宅分野開拓 (ATA構法)



これまで鉄骨造り、鉄筋コンクリート造りなどが主流であった大型の建築物が、木造でも造ることができるようになりました。

写真はATAハイブリッドトラス構法で建設中のボート展示場です。集成材と金物を組み合わせることによって、中に柱がなくても耐震・耐火性能のすぐれた建築物を作ることができます。当社がプレカット木材を提供しました。

脱炭素社会の切り札の一つとして、政府は木材の活用を積極的に打ち出しており、当社も強力に推進します。

(事業戦略の一例) 液体ガラスによる木材補強



80℃のお湯の湯煎釜で約2時間、液体ガラスが入った含浸釜で約3時間木材を漬け込み、液体ガラスで被膜された木材にします。防腐、防火、抗菌、とげ・ささくれ防止などに大きな効果が出ます。



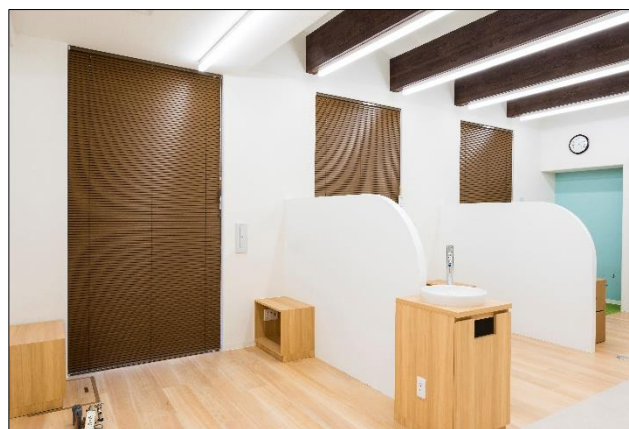
モデルの家を使って、液体ガラスで保護した場合とそうでない場合との燃え方の違いを実験しました。



ログハウスが都市部や郊外でも流行するきざしがあります。しかし劣化を防ぐためには、ログハウスオーナーが洗浄や再塗装などのメンテナンスを定期的に行う必要があります。面倒だという方も多いと思いますので、それを克服しようと、株式会社ニッコ様が開発した液体ガラスの含浸木材製造代理店になりました。

液体ガラスは完全無機質なため、人体や環境に悪影響を与えません。その含浸木材は抗カビ、ダニ忌避など衛生面を向上させ、また温度・湿度・雨水との調和を保ちますので、これからの高機能建材と言えます。

(事業戦略の一例) 非住宅の建築 (医療施設)

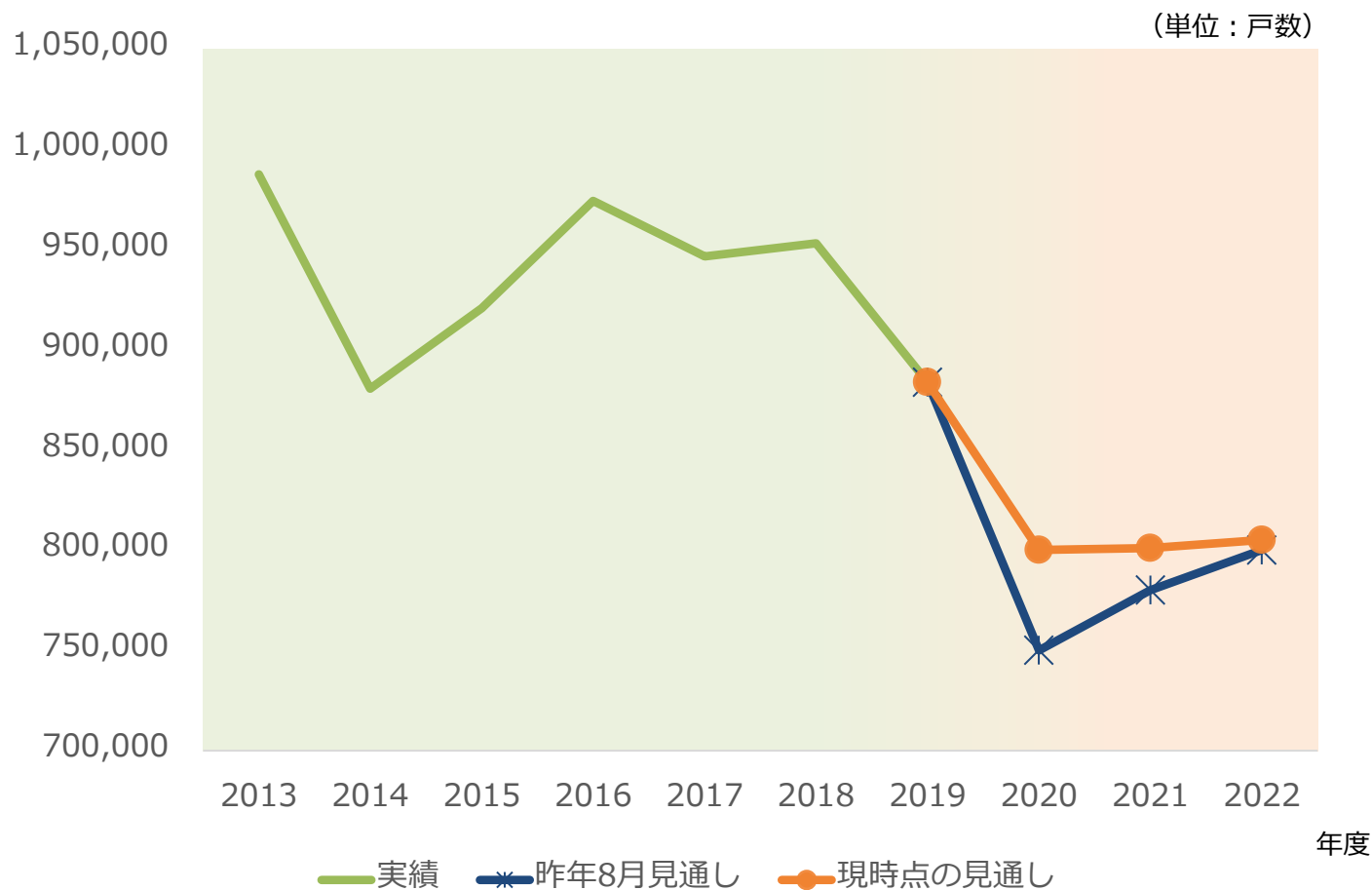


株式会社シー・エス・ホームによる歯科医院の建設です。2020年12月に竣工しました。非住宅の建築物は、住宅におけるリビングルーム以上の広さを設計することが多いため、木構造には細心の注意を払います。天井の太い梁を照明器具の土台にして綺麗に見せるなど、デザイン上の工夫も見せ所となっています。

市場見通し（新設住宅着工戸数）



2020年度は800,000戸程度と、昨年8月の見込みよりは落ち込みは小さくなるが、その後はほぼ横ばいの水準にとどまると予想



出所：国土交通省 住宅着工統計
参考：三菱UFJリサーチ&コンサルティング、野村総合研究所、日刊木材新聞 これらより当社作成

①プレカット事業

建て方職人体制を構築

外国人を中心とした職人を育成し建て方人員について2022年5月頃までに20～30名程度とする体制構築を目指し、職人不足が進む中でプレカット販売の有力なオプションとする。しかし、新型コロナウイルスによる入国制限の影響で時期が遅れる可能性あり。

ログハウスの加工について100%内製化を実現

住宅地の景観に溶け込む事ができる角ログの加工に加えて、従来のログハウスファンの魅力でもある定期メンテナンスを不要としたり、日常生活をするのに使い勝手の良い内装を提供したりすることにより、新たな市場を開拓する。

営業部門の強化

新規取引先開拓と既存顧客対応を行う営業スタッフを分け、目標と責任を明確化することで、住宅市場が縮小する中でシェアを拡大する。

大型木造建築への参入

一般流通材で最大スパン「40m」の無柱空間を実現できるATAハイブリッド構法の加工・プレカット販売を拡大する。
大型木造建築のメリットが認知され、需要拡大が見込まれる中で、対応可能な体制を構築する。

物流の効率化

一日2便/台を配送している運用を通じて、業務体制の見直しにより月600台から1,000台に拡大し、コスト面でもプレカット収益に貢献する。

②建築請負事業	<p>ログハウスと大型建築受注について、プレカットとのシナジー効果によるグループベースでの利益向上</p> <p>保育所建築の実績で評価をいただいている保育所運営会社等からの紹介などにより、他社の新規保育所計画からも建築請負を受注</p> <p>住宅着工件数が落ち込む中で、リフォームニーズは高まるのが想定されるので、リフォームの請負体制を整備</p>
③不動産賃貸事業	<p>東京都の待機児童数についてピークを越えたものの、希望する保育所に入所できない世帯は依然として多く、幼児教育・保育無償化が開始されたことなどからも新規建設ニーズが引き続きあるため、既存で確定している15棟から2022年5月には20-25棟へ拡大</p>
④その他不動産販売事業	<p>コロナ禍や近年多発している災害後のニューノーマルに向けて、新たな顧客ニーズを創出しながら、安定的に販売できる体制を構築</p>

<p>⑤ その他の事業</p>	<p>おがくず販売の100%内製化を達成し、自社以外のおがくずについても回収・販売対応を行うことで、リサイクルを促進するとともに売上にも貢献</p> <p>おがくず同様に端材についても、バイオマス用チップとして販売</p>
<p>⑥ 財務体質の改善</p>	<p>賃貸事業の借入期間を短期化することで、財務体質の大幅な改善を指向</p>
<p>⑦ 人財開発等</p>	<p>グループ各社との親和性が高い良い案件があれば、積極的にM&Aによる事業拡大を推進</p> <p>そこで重要になるのが、会社の改革とCSLのカルチャーを浸透させることができる人財の採用と育成となるため、採用の多様化と機動的な人員配置、教育体制の構築をフェーズ1で対応</p> <p>報酬制度を含む人事制度改革により、ガバナンス強化とROAを改善</p>
<p>⑧ ガバナンス強化</p>	<p>東証新市場に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、コーポレートガバナンスコード全適用に十分に対応できる体制を構築</p>

1. 当社の概要
2. 2021年5月期第2四半期決算概要
3. 2021年5月期業績予想
4. 中期経営計画2022の取組状況
5. 参考資料

シー・エス・ランバーグループ社是

Customer Satisfaction through Lumber 木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する



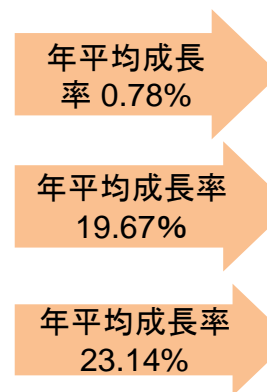
短期的な経営課題にしっかりと対応し安定した利益を確保すると同時に中長期的な経営課題をも見据えた施策を実施し持続的成長軌道に乗せる

中期経営計画2022 業績目標



(単位：百万円)

	2019/5	2020/5
	実績	実績
売上高	15,818	15,565
営業利益	661	1,068
当期純利益	362	638



	2021/5	2022/5
	業績目標	業績目標
売上高	15,410	16,193
営業利益	1,089	1,133
当期純利益	640	676

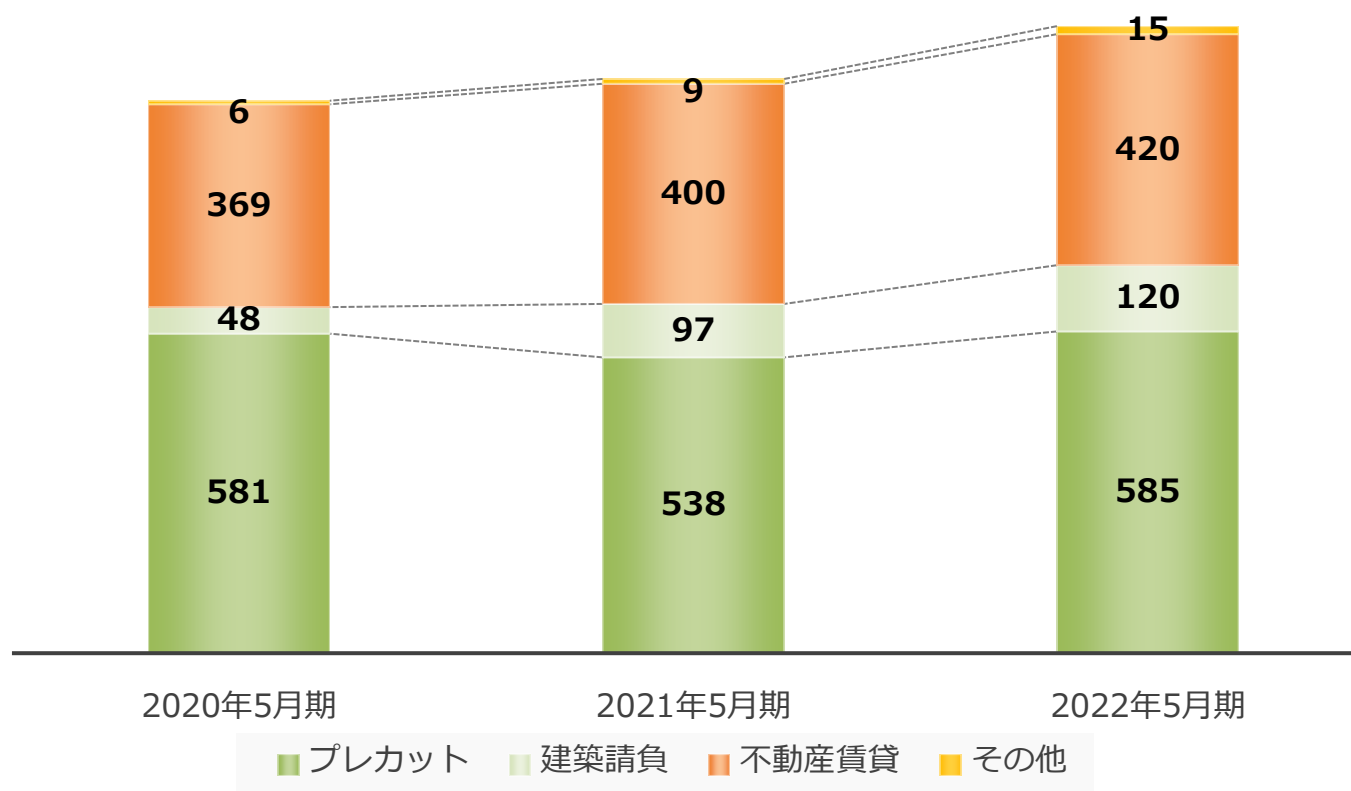
※2019年5月は、特殊要因（消費税増税駆込み需要効果）を除く値で読み替えを実施

事業別業績見込み（営業利益）

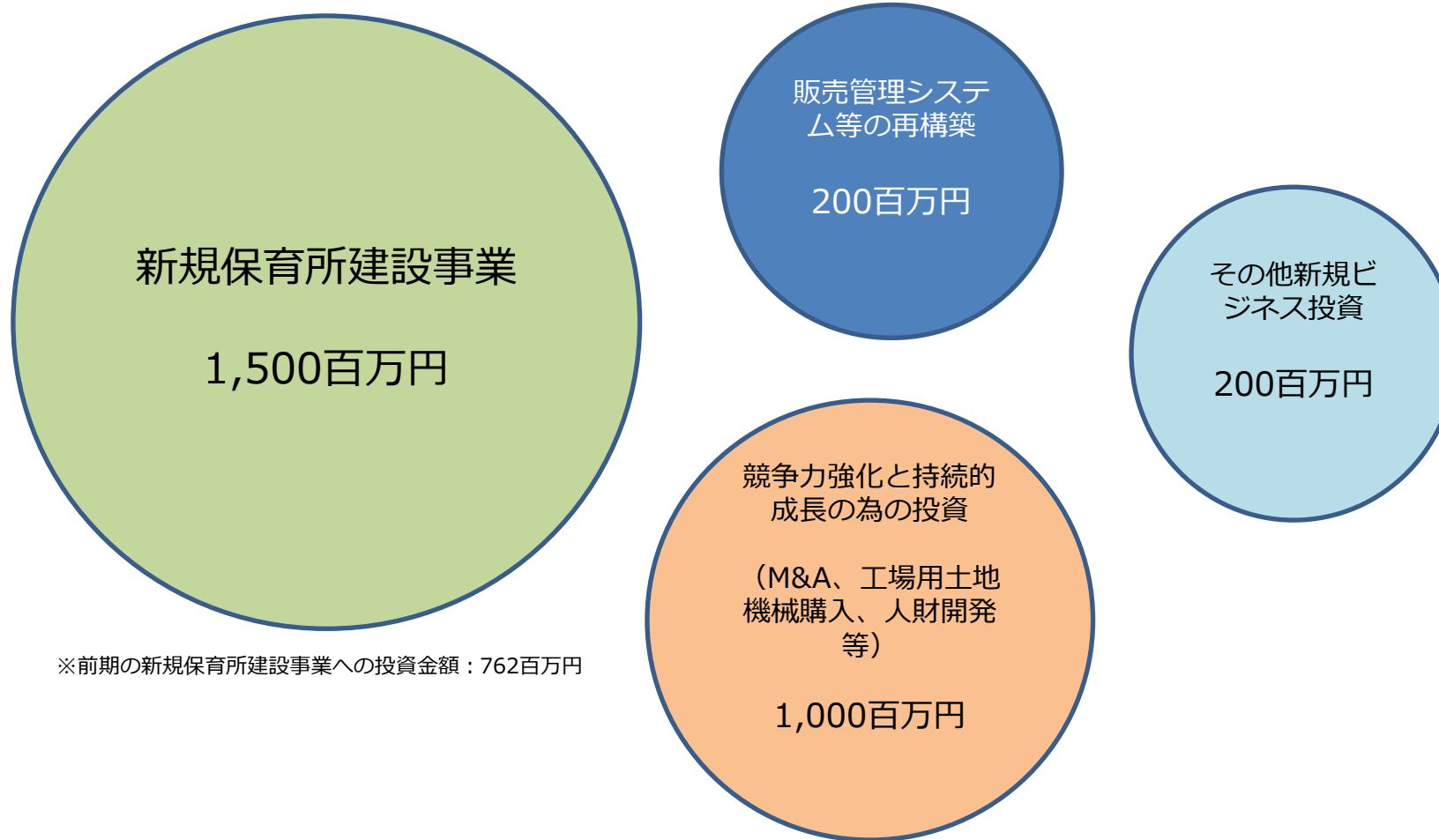


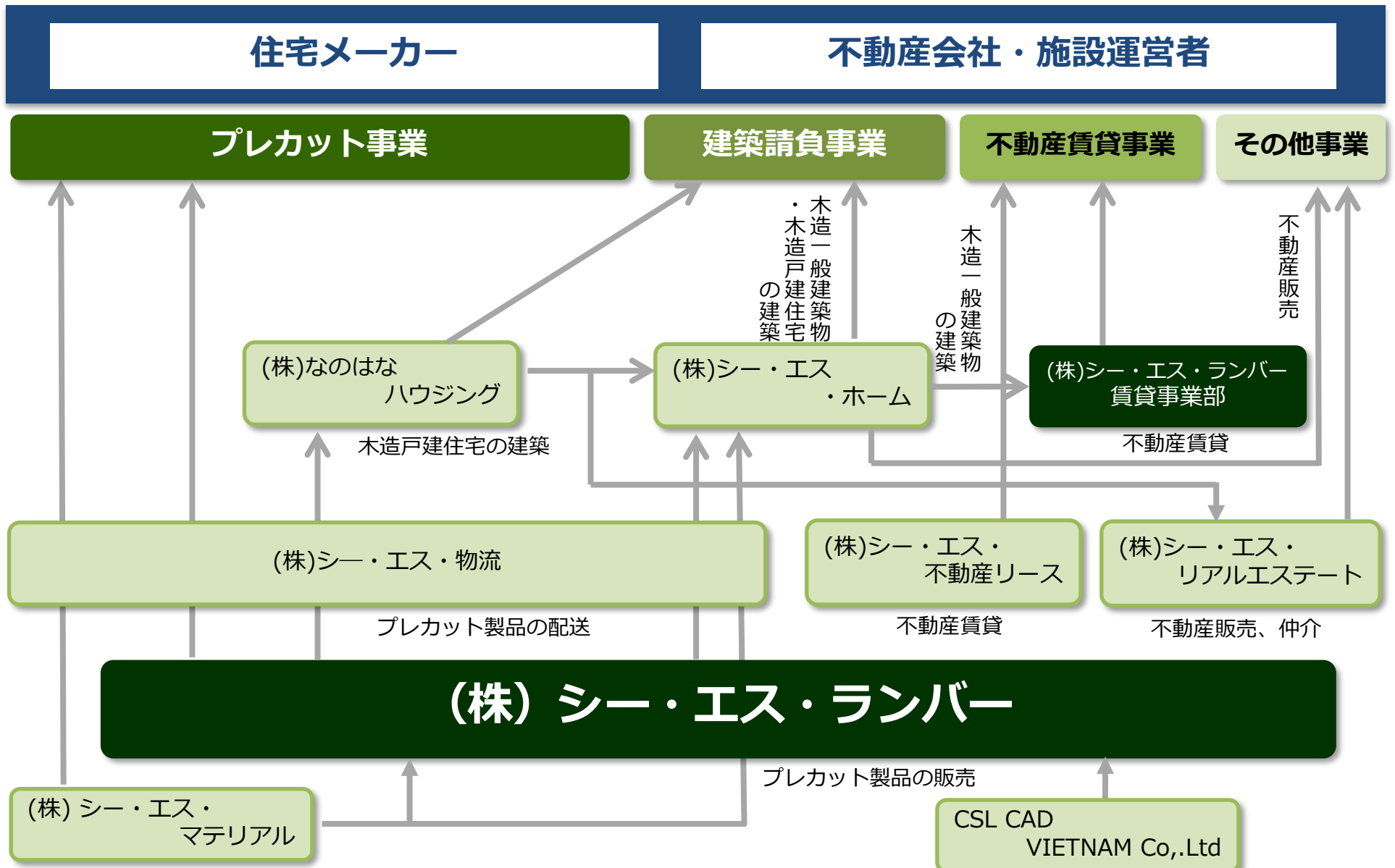
新型コロナウイルスの影響でプレカット事業は一時的な影響を受けるものの、保育所を主体とした不動産賃貸事業が堅調に推移する中で、建築請負事業とその他である不動産販売事業を改善させ、中期経営計画2022の最終年度及びその後に向けて安定成長できる基盤整備構築を推進

（単位：百万円）



2020年6月～2022年5月まで 2,900百万円の投資





事業概要 (1) プレカット事業①



在来軸組工法における設計 (CAD)、木材のプレカット加工及び販売
ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売

「木造建築の主要2工法に対応」した加工・販売

在来軸組工法 (山武工場)

日本で最も主流の工法
基礎の上に木の土台を据えて、柱と柱を梁で水平につぎ、
対角線を筋交いで補触する

ISO9001 : 2015認定

登録証番号 : JQA-QM8720

登録活動範囲 :

木造住宅用プレカット材の
設計、製造



(財)日本住宅・木材技術センター認定

優良木質建材等認証

CSL高耐久性機械ブ

レカット部材 (2種-

ACQ)



認証番号 AQ-099-A1-1



ツーバイフォー工法 (東金工場)

枠状に組まれたツーバイ材に構造用合板を打ち付けた壁や
床 (面材) で支える「枠組み」構造
隙間が大変少なく、気密性・防音性に優れている

JAS認定工場 (全国木材検査・研究協会)

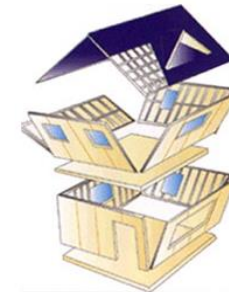
認定番号 : JLIRA-A-016

認定品目 :

枠組壁工法構造用製材

認定区分 :

人工乾燥枠組壁工法構造用製材



北欧などからの製品輸入が中心のログハウスプレカット事業に参入 (2019)



カントリーテイストのある木造家屋が都市部住宅街にも建ち始めている傾向を捉え、ログハウスメーカーとタイアップしてプレカットを開始
在来軸組工法、ツーバイフォー工法の技術も必要とされており、親和性大

プレカット事業を軸に、建築請負事業も展開している

ATAハイブリッドトラス構法のプレカット事業に参入 (2020)

「無柱大空間を可能にした非住宅・中大規模木造トラス構法」を生んだ株式会社ATA (アタ社) の提携プレカット工場となる

商業・工場・スポーツ施設など建物用途は多岐多様、時代の流れは鉄骨から木造へ



事業概要 (2) 建築請負事業



木造戸建住宅・木造一般建築物の建築（大型木造施設等）の建築請負

当社のプレカット製品を仕入れて、
木造住宅・保育所等の大型木造施設を合わせ
年間約200棟を施工



茂原市介護施設

- ・構造：木造2階建
- ・延床：996.26㎡
- ・居室数：23室



なのはなモデルハウスA棟

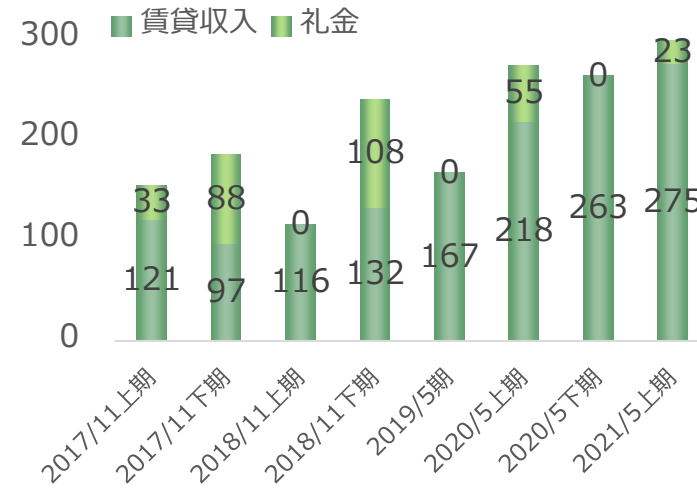
事業概要 (3) 不動産賃貸事業



長期安定契約を基本方針とした不動産賃貸及び管理

(単位：百万円)

賃貸収入の推移



2017年に賃貸物件の一部を売却したため、2017年下期は賃貸収入が減少



保育所 (中野区)

- ・構造：木造 2階建
- ・土地：483.41㎡
- ・延床：357.74㎡
- ・定員数：63名
- ・契約期間：2020.1.1
~2040.3.31



保育所 (文京区)

- ・構造：鉄骨造 3階建
- ・土地：254.18㎡
- ・延床：378.00㎡
- ・定員数：59名
- ・契約期間：2019.11.1
~2040.3.31

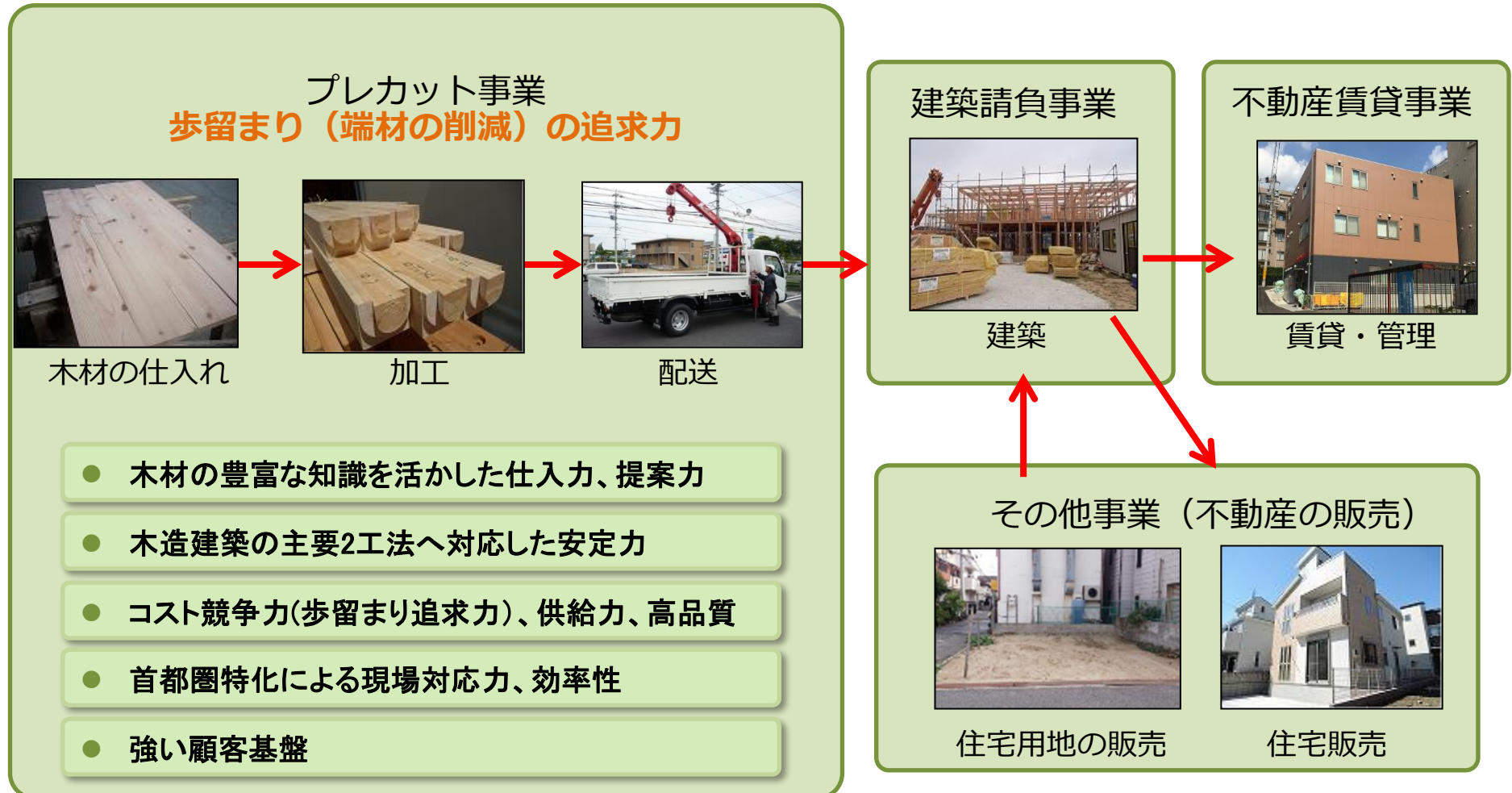


保育所 (台東区)

- ・構造：鉄骨造 4階建
- ・土地：155.34㎡
- ・延床：387.44㎡
- ・定員数：60名
- ・契約期間：2018.10.1
~2034.3.31

付加価値を創造する木造建築のトータルサービス

- 材木店経営で培った木材（業界）に関する豊富な知識を活かし、木材の仕入れから加工、建築、賃貸・販売までグループ内で行うことで、付加価値を創造



当社の強み（2）プレカット事業（在来軸組工法 山武工場）



ピッキングシステムと新式プレカット加工ラインの導入により、**高い歩留まり・生産性を実現**

ピッキングシステム（邸別ピッキング用自動倉庫）

更なる「歩留まり追求」を目的に導入

⇒ **歩留まりが約10%向上**

- ・コンピュータ制御による在庫管理技術の向上に伴い、必要な木材のより適切な仕入れが可能となり、**材料費を削減**
- ・材料の木材の入庫、出庫の自動化により、**生産性も向上**



新式プレカット加工ライン



- ・加工能力向上に加え、従来難しかった複雑な加工も可能になり機械化率が上昇し、**生産性も向上**
- ・製品の**品質安定化**にも貢献

全部位 (壁・床・屋根) のパネルを加工し、現場に配送

- ・ 建築現場における工数が大幅に削減される他、高度技術者も不要となり、**付加価値の高い製品**を提供



壁パネル



床パネル



屋根パネル

大量かつ安定供給が可能な東金工場

- ・ 広大な敷地 (62,467㎡) の東金工場に設備を集約し、パネルの**大量生産・保管、安定供給体制**を確保
- ・ 東金インターから約10分の好立地で、**効率化された自社配送**

機械化が進んだ生産ライン

- ・ 在来軸組工法で培ったノウハウを活かし、機械化を推進
複雑な形状の加工においても機械化を進め、高品質、高い生産性を確保



マルチカットライン
(木材のカット)



マルチカット製品



パネルシージングライン
(自動釘打ちマシン)

ベトナム子会社でのCAD設計

標準的な建物の設計を行い、**コスト低減**

- クロス (直切り) カットライン 2ライン
- マルチカットライン 2ライン
- パネルシージングライン 2ライン

当社の強み (4) プレカット事業 (首都圏に特化)

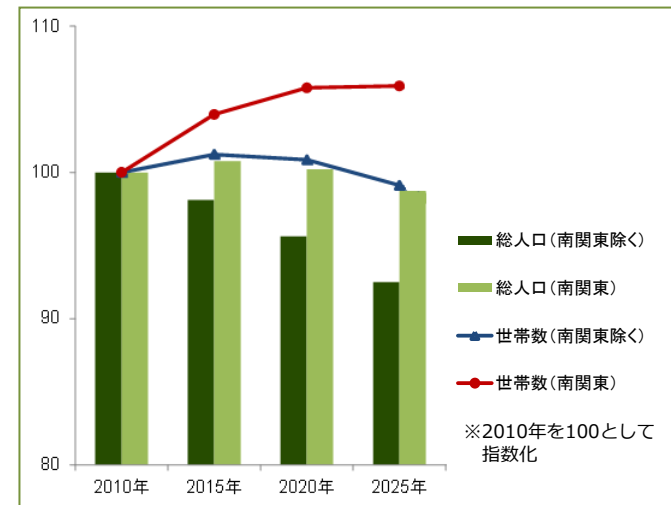


人口が集中する首都圏(1都4県)に絞った生産・営業拠点



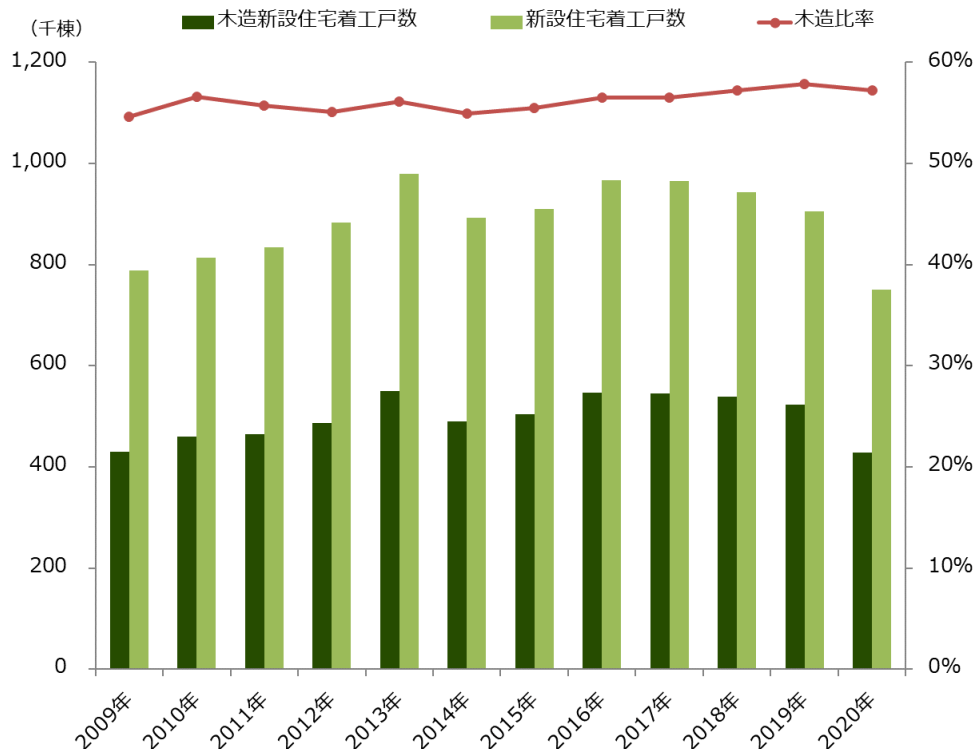
展開エリアを絞ることにより

- ・お客様のニーズへの迅速な対応 (企画・設計・アフターサービス)
 - ・営業効率
 - ・配送効率
- 生産性向上による
コスト競争力



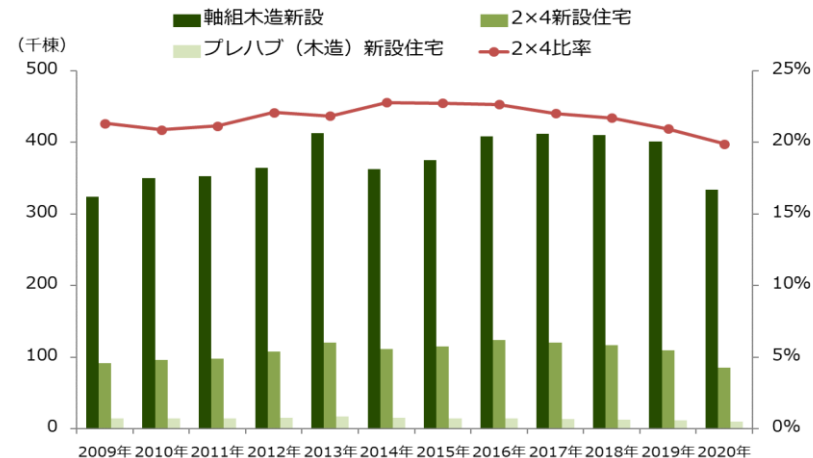
出所：国立社会保障・人口問題研究所「全国人口将来推計」より当社作成

新設住宅着工戸数に占める木造新設住宅着工戸数の割合



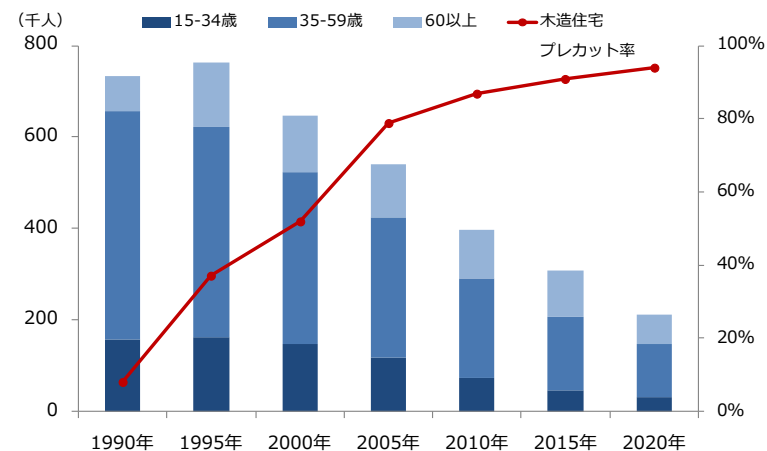
出所：国土交通省総合政策局情報管理部建設調査統計課資料より当社作成
(2020年は、1月～11月の実績)

工法別木造新設住宅着工戸数とツーバイフォー比率



出所：国土交通省総合政策局情報管理部建設調査統計課資料より当社作成
(2020年は、1月～11月の実績)

年齢別大工就業者数と軸組木造住宅のプレカット率

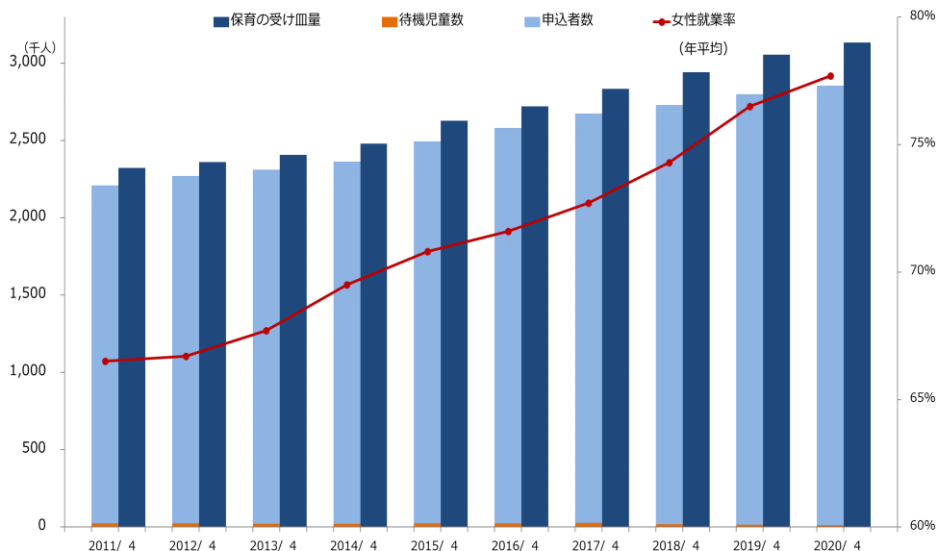


出所：総務省「国勢調査」、一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会、住環境価値向上事業協同組合「大工の育成と雇用形態 平成25年度」一般社団法人 木を活かす建築推進協議会より当社作成

待機児童数の状況

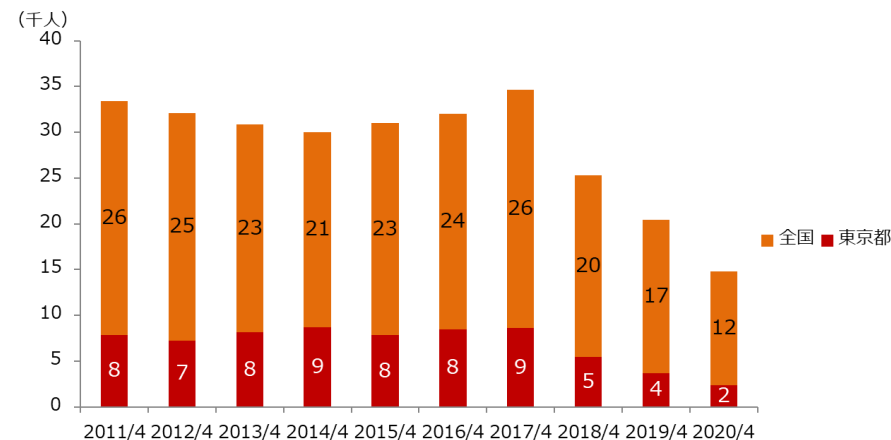


女性就業率、保育所受け皿量、待機児童数の推移



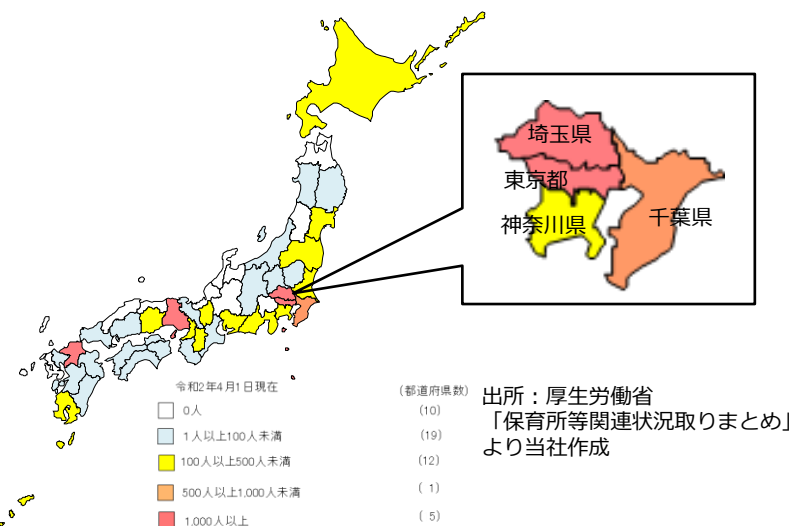
出所：厚生労働省「待機児童及び待機児童解消加速化プランの状況について」より当社作成

全国待機児童数に占める東京都の割合



出所：都福祉保健局公表資料「保育サービス利用状況等について」より当社作成

地域別待機児童数の状況



出所：厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ」より当社作成

木材資源の有効活用による環境保全活動を中心に推進

環境 (Environment)

木材資源に関する3R活動を推進

- ① **Reduce (削減)** :
木材をプレカット加工する際に発生する端材の量を削減
例) ムダな端材が発生しないような寸法の木材を調達
- ② **Reuse (再利用)** :
端材を別の製品の材料として再利用
例) 構造材や端柄材の加工の際に発生した端材を短材プレカットの材料として利用
- ③ **Recycle (再資源化)** :
端材を再生資源として再利用
例) プレカット製品の材料として再利用することができない端材を製紙用、バイオマス燃料用のウッドチップとして加工

木材のグリーン調達

- ・ 合法木材供給事業者認定取得 (東金工場、山武工場)

木材は、二酸化炭素 (CO₂) を固定化させるため、木造住宅のプレカット製品の製造やその他の木材資源の有効活用を通じて、**CO₂排出量削減などの環境保全に貢献**

社会 (Social)

製品・サービスの品質保証の推進

- ・ ISO9001の取得
(「木材住宅プレカット材の設計、製造」など)
- ・ JAS認定工場 (東金工場)
- ・ 優良木質建材等認証 (AQ認証)
(山武工場、シー・エス・マテリアル)

少子化・待機児童対策への貢献

- ・ 保育所の賃貸事業を都内を中心に積極的に展開、施設数も年々増加

企業統治 (Governance)

社内での啓蒙活動の推進

- ・ コンプライアンス教育の実施
- ・ 内部通報制度
(コンプライアンス・ヘルプラインの設置)

株式会社シー・エス・ランバー

【お問い合わせ先】

株式会社シー・エス・ランバー

取締役 管理本部長 鈴木 正裕

TEL 043-213-8810

FAX 043-213-8819

URL <https://www.c-s-lumber.co.jp>

<ご案内>

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご利用者自身の判断において行われるようお願い申し上げます。

なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製等を行わないようお願い申し上げます。